

病床整備方針を踏まえた圏域ごとの病床整備について

【南西部】

1. 整備を進める計画	病院名	計画地	開設者	病床数	主な機能	今後の手続
	堀ノ内病院	新座市	社会医療法人 社団 堀ノ内病院	10	地域包括ケア	・整備を進めるに当たり、地域医療構想調整会議に出席し、説明を行ってください。
2. 継続して協議する計画	病院名	計画地	開設者	病床数	主な機能	今後の手続(案)
	さくら記念病院	富士見市	医療法人さくら	38	地域包括ケア	<p>・地域包括ケア病棟、在宅療養支援については別紙「地域包括ケア病棟等の継続協議について」の今後の進め方により行います。</p> <p>・回復期リハビリテーション病棟については受入先の具体的な見込み(病院名・患者数)を踏まえたうえで、必要性を協議します。</p> <p>・救急については地域の病院との連携、医療スタッフや診療体制の確実性を明らかにしたうえで必要性を協議します。</p>
	静風荘病院	新座市	一般財団法人 野中東皓会	20	地域包括ケア	
	富家病院	ふじみ野市	医療法人社団 富家会	48	在宅療養 後方支援	
	和光リハビリテーション病院	和光市	医療法人 泰一会	104	回復期リハ	
	三芳野病院	三芳町	医療法人社団 草芳会	12	回復期リハ	
	ふじみの救急クリニック (有床診療所)	三芳町	医療法人社団 晃悠会	19	救急	
	(仮称)朝霞台駅前耳鼻科 クリニック(有床診療所)	朝霞市	南 和彦	3	がん医療 救急	

地域包括ケア病棟等の継続協議について

～「医療から介護、施設から在宅へ」「時々入院、ほぼ在宅」～

○協議会等での関連意見

- ・「地域包括ケア病棟が増えると介護老人保健施設の入所者が減るため、周囲の医療機関や介護施設と連携し介護サービスの状況も把握しながらやっていく必要がある。」
- ・「急性期病院が地域包括ケア病棟を有している場合、自院の急性期患者が優先されるため、他院から受け入れる病床は不足する。」
- ・「地域包括ケア病床が不足しているため自院完結型でなく地域全体からの受入が可能な病床整備が必要」
- ・「「医療から介護、施設から在宅」「時々入院、ほぼ在宅」の流れの中で地域包括ケア病棟が重要」
- ・「急性期を担う病院に患者が集中し、急性期の治療を終えた患者を受け入れる病床が不足」
- ・「回復期リハビリ病棟は充足しているが急性期病院からの重症な合併症患者の受け皿が不足」
- ・「訪問診療を担う医療機関の絶対数が不足している」

○地域包括ケア病棟の機能(役割)

- ①急性期治療を経過した患者の受け入れ (ポストアキュート)
- ②在宅で療養患者等の緊急時の受け入れ (サブアキュート)
- ③在宅・生活復帰支援
- ④その他の受け入れ

○2018年の地域包括ケア病棟の診療報酬改定

(新規の実績要件)

- ・ 自宅等からの入院患者の受け入れ
- ・ 自宅等からの緊急患者の受け入れ
- ・ 在宅医療等の提供
- ・ 地域医療機関との連携
- ・ 介護サービスの提供
- ・ 看取りに対する指針の策定

院内からの転棟ではなく、地域からの患者受け入れを重視

※介護老人保健施設が地域包括ケア病棟の在宅復帰率の指標から外れた

○今後の協議の進め方

- ・ 市町村の医療、介護関係者と地域包括ケア病棟と老健等の介護施設の現状と役割・機能、連携状況等について確認 → 地域包括ケア病棟と老健の役割について大まかな棲み分けを共有
→ 地域包括ケア病棟の整備の方向性
- ・ 次回の地域医療構想調整会議において継続協議対象医療機関が改めて、別紙様式「整備計画報告書」により説明・協議

第7次埼玉県保健医療計画に基づく病院整備計画の整備計画報告書

1 病院名：

2 所在地（開設予定地）：

3 整備計画（増床）病床数： 床
（医療機能別内訳：地域包括ケア●床、回復期リハ●床、・・・）

4 スケジュール

	項目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	平成 年 月
2	建築（着工）	平成 年 月
3	建築（竣工）	平成 年 月
4	医療従事者の確保	平成 年 月
5	使用許可（医療法）	平成 年 月
6	開設（増床）	平成 年 月

5 整備方針、目標

- 地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能
- 新たに担う役割
- 将来の方向性
- 現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み 等

【増床病棟】（※有床診療所についても準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
●●病棟	床	(例)回復期		
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	(例)地域包括ケア病棟入院料1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期		
	一般／療養	入院基本料・特定入院料		
診療科 ●●科、●●科、・・・				
患者の受入見込み (※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入してください。)				
【増床前】 (例) ●●病院から年間●●人 (%) 自院から年間●●人 (%)			【増床後】 (例) ●●病院から年間●●人 (%) 自院から年間●●人 (%)	

●●診療所（自宅）から年間●●人 （ %） ●●施設から年間●●人（ %） 訪問診療を行う患者数 年間●●人 分娩取扱件数 年間●●人	●●診療所（自宅）から年間●●人 （ %） ●●施設から年間●●人（ %） 訪問診療を行う患者数 年間●●人 分娩取扱件数 年間●●人
医療（介護）連携見込み （※具体的に記入してください。）	
【増床前】 ○紹介元：●●病院、●●診療所、●●施設、・・・ ○紹介先：●●病院、●●診療所、●●施設、・・・	【増床後】 ○紹介元：●●病院、●●診療所、●●施設、・・・ ○紹介先：●●病院、●●診療所、●●施設、・・・

6 既存病棟の概要（※有床診療所についても既存病床がある場合は準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
●●病棟	床	(例)急性期	日	%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	(例)急性期一般入院料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料		
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料		
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料		
診療科				
●●科、●●科、・・・				
診療実績				
○手術の実施状況、がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況、重症患者への対応状況、救急医療の実施状況、全身管理の状況など（急性期）				
○急性期後の支援・在宅復帰への支援の状況、全身管理の状況、疾患に応じたリハビリテーション・早期からのリハビリテーションの実施状況など（回復期）				

7 医療従事者（※確保予定の人員には、増員となる人数を記載してください。）

職種	現在の人員（人）			確保予定の人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師						
看護師						
その他						
計						

確保状況・確保策、確保スケジュール

（※確保予定の人員について、確保策等を具体的に記載してください。）

8 医療（介護）連携における課題、問題点

- 急性期医療機関：「出口」となる医療機関は充足されているか
- 回復期、慢性期医療機関：市町村、ケアマネージャーとの連携状況、待機患者の状況、在宅への移行はスムーズに行われているか 等